

[花をつくる]



只見町での花づくりは昭和45年（1970年）ごろから始まりました。
 しもごうまち たじままち のうか
 下郷町や田島町の農家の人たちといっしょに、山にさいていた美し
 うつく
 いリンドウのたねをとってきて畑でそだててみたそうです。そして、
 ぜんこく
 全国に知られている「尾瀬」の名をつけて「尾瀬りんどう」とし、東
 おせ
 京方面へ売り出しました。

それから工夫を重ね、よい花が
 くふう かさ
 さくように品種改良をすすめ、
 ひんしゆかいりよう
 このごろは「ドリームりんどう」
 というとても美しい花ができるよ
 うになりました。色がこく、花び
 か
 んに生きておいても花の美しさが
 い
 長もちするのだそうです。

只見町で花づくりをする農家は
 ふえ、売りあげも、のびてきてい
 ます。

只見町の花き栽培のうつりかわり円

